

IELTS の概要

■IELTS とは

IELTS は International English Language Testing System の略で、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、シンガポールへの留学・就労・移住希望者などを主な対象とした英語能力判定テスト。アメリカの大学でも受け入れが広がっている。Cambridge が問題を作成し、British Council と IDP が試験を実施している。

※Academic Module と General Module

Academic は留学を目指す人が受けるもの、General は移住を目指す人が受けるもの。両モジュールは Listening と Speaking は共通問題で、Reading と Writing のみ異なる。

※IELTS for UKVI

イギリスビザ取得を目的に IELTS を受験する場合、通常の IELTS とは異なり、British Council 経由で申し込む IELTS for UKVI が必要になることがある。

■テスト結果とレベル

0 から 9.0 まで 0.5 ごとの 17 段階に分類する独自の評価システムを採用している。大学によって Overall (OA) でのスコアのみを設定している場合と、セクション別の最低点を設定している場合がある。

イギリスの学生ビザ :	OA5.5 (各 5.5)
一般的な大学留学 :	OA5.5~6.5
一般的な大学院留学 :	OA6.5~7.5

■テスト形式

ペーパー版とコンピューター版 (CDI : Computer-delivered IELTS) の 2 種類ある。CDI では Speaking 以外の 3 セクションをコンピューター上で解く。問題形式は同じ。

■日本での申し込み先

- ・ペーパー版テスト : 英検協会、JSAF など IDP 会場
- ・CDI (コンピューター版テスト) : British Council (東京)、JSAF など (東京)
- ・UKVI : British Council (東京、大阪) ※東京のみコンピューター版も実施

■ペーパー版テストの実施日

- ・世界

毎月、土曜に 3 回、木曜に 1 回のテスト日が設定されている。それぞれの開催日で時差に合わせて 3 種類のテストが作られている。

- ・日本

月に 3 回程度実施される。東京、大阪会場では 1-day と 2-day がある。その他の会場は 1-day のみ。東京では毎月、土曜のテストが 2~3 回実施される。

※日本での試験時間帯 (拘束時間)

Writing, Reading, Listening : 土曜日、または木曜日の 8 : 40 頃~12 : 30 頃まで
Speaking : 1-day は当日の午後~夕方、2-day は別日に 40 分程度

受験申し込みから結果発表までの流れ（ペーパー版テスト）

■基本情報（共通事項）

- ・受験費用
25,380 円。ただし、UKVI は 29,400 円。
- ・申し込み
基本的にはウェブサイトで申し込む。
締め切りは主催団体により異なる。
- ・受験票
オンラインやメールで確認。
発表される時期は主催団体により異なる。
- ・3 セクションの試験（土曜日や木曜日の朝）

Writing	9 : 15 頃～10 : 15 頃
Reading	10 : 25 頃～11 : 25 頃
Listening	11 : 35 頃～12 : 20 頃

 ※どうしてもトイレに行くなら Writing や Reading のときのみ。
- ・Speaking 試験
別日程（1-day なら当日午後、2-day なら別日）で 40 分ほどの拘束時間。
1-day でも集合時間までは自由時間。
試験開始 20 分前に集合し、試験時間は約 15 分。
パスポートは必須で、忘れると受験できない。2-day の時には特に注意！
- ・結果発表
3 セクションの試験日の 2 週間後にオンラインで確認。
数日後にスコアシートが自宅などの指定した住所に郵送される。
- ・リスコアの要求
スコアに不満がある場合、セクションごとにリスコアを申請することが可能。
ただし、費用（スコアアップの場合は返還）と時間（1 ヶ月程度）が掛かる。

■英検協会と JSAF の違い

試験の開催日（月 3 回の土曜日）、試験問題は全く同じ。手続きや運営が異なるだけ。

	英検協会	JSAF
URL	http://www.eiken.or.jp/ielts/	https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/
申込締切	空きがあれば 19 日前まで可能。 ※6 月以降は 5 日前まで可能。	空きがあれば 3 日前まで可能。
Speaking 時間帯	1-day なら午後～夜、2-day なら午前～夜。時間帯は選べない。2-day は土曜日に 3 セクションの受験をし、 <u>翌日の日曜日に Speaking のみ受験することができる。</u>	基本的には 1-day しかなく、午後～夜に実施される。10 日前までに申し込めば時間帯のリクエストが可能。
受験票	2 週間前にオンラインで確認	数日前にメールで届く
集合時間	8 : 40 厳守	8 : 55 厳守
持ち物	<u>パスポート</u> 、鉛筆、消しゴム、（飲み物）	<u>パスポート</u> 、（飲み物） ※鉛筆、消しゴムは提供される。
予約変更	19 日前まで。1 回は無料。	8 日前まで。5,940 円が必要。
キャンセル	19 日前まで。6,300 円はとられる。	8 日前まで。5,940 円はとられる。

受験申し込みから結果発表までの流れ (CDI)

- ・試験会場
英検協会、東京の British Council (飯田橋) や JSAF などを実施している。
- ・ペーパー版との違い
Listening, Reading, Writing は全てコンピューター上で行う。
Speaking はペーパー版テストと全く同じ対面式の試験。
- ・受験費用
British Council は 26,400 円。英検、JSAF などは 25,380 円。
- ・申し込み
ウェブサイトで申し込む。その際に、Speaking の時間帯も確定できる。
<https://ieltsregistration.britishcouncil.org/test-chooser>
<https://my.ieltsessentials.com/IELTS?countryId=101>
- ・受験票
オンラインで確認。
- ・試験当日の日程
Speaking 午前中に個別に実施
Listening 14 : 00 頃～14 : 40 頃
Reading 14 : 50 頃～15 : 50 頃
Writing 16 : 00 頃～17 : 00 頃
※午前中に 3 セクション、午後に Speaking の日もあり。
- ・結果発表
試験日の 7 日後にスコアシートが自宅などの指定した住所に発送される。
同日にオンラインでも確認可能。

CDI については当校ウェブサイトのコラムをご覧ください。



受験から結果発表までの流れ (IELTS for UKVI)

1. British Council のホームページで受験を申し込む。
<http://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration>
試験日は月 2～3 回。空きがあれば試験前 2 週間前まで申し込み可能。
支払いはカードでその場で決済。
2021 年 4 月から英検ホームページでも申し込み受付。6 日前まで申し込み可能。
<https://www.eiken.or.jp/ielts/ukvi/>
2. 受験日の 1 週間前に受験票がメールで届く
この時点で初めて、試験会場やスピーキング試験の時間帯が知らされる。
Speaking は前後 3 日間の中で設定されるが、出来る限り同日にすること。
3. 試験当日に受験する
試験内容は通常の IELTS と同じ。セキュリティーが強化され手続きが煩雑に。
4. スコア発表
2 週間後にオンラインで確認が可能。同日中にスコアレポートが発送される。

Listening Section

■問題構成

4パート 各10問で計40問

- ①Conversation General
- ②One-speaker General
- ③Conversation Academic
- ④One-speaker Academic

+10分間（ペーパー版では解答用紙に答えを写す時間）

■採点

1問1点で40点満点を0.5刻みのバンドスコアに変換する。

得点	スコア
16	5.0
23	6.0
30	7.0
35	8.0

■CDIのメリット

- ・ヘッドフォンで聞ける

■CDIのデメリット

- ・設問にチェックが入れにくい
- ・タイピングができないと難しい

■各パートの流れ

- ・説明 場面設定と前半の問題番号が流れる。
- ・準備時間 問題数により変動。10秒～30秒程度。
- ・本文前半
- ・準備時間 問題数により変動。10秒～30秒程度。
- ・本文後半
- ・30秒 見直しの時間とされているが、次のパートを見ているもOK。

※パート4のみ本文が前後半に分かれていない。

■問題の種類

- ・書き取り問題
本文で言われた単語を書き取る問題。文中の穴埋めが基本だが、英問英答もある。
- ・選択問題
3択、マッチング、分類など多岐に渡る。

■問題の解き方

- ・とにかく事前準備が大切。本文が始まる前にキーワードに印をつけておく。
- ・次から次へと問題の答えとなる部分が流れてくるので、捨てる勇気も必要。

■勉強方法

- ・ディクテーション（書き取り対策）
本文30～60秒くらいを10回ほど繰り返し流し、全ての単語を書き取る。
- ・意味取り練習（選択対策）
意味の塊ごとにポーズ→意味考えて、できればリピート→次の塊へ
- ・シャドーイング（選択対策）
スクリプトなしで真似を3回→見ながら意味も込めて3回→見ずにまとめの3回。

★LINGOの授業では…

- ・問題の解き方をお教えした後、教室内で問題を解いて頂き解説を行います。
- ・様々な問題形式の特徴や解き方、注意点を詳しくお伝えします。

Reading Section

■問題構成

3 パッセージを 60 分で解く。各パッセージは 13~14 問で合計 40 問。

※最初のパッセージが易しく、最後が難しいと言われているが…そうとは限らない。

■採点

1 問 1 点で 40 点満点を 0.5 刻みのバンドスコアに変換する。

Academic Module		General Module	
得点	スコア	得点	スコア
15	5.0	15	4.0
23	6.0	23	5.0
30	7.0	30	6.0
35	8.0	34	7.0

■問題の種類

・ headings 問題

段落の小見出しをつける。

・ 段落選択問題

設問の内容が本文のどの段落に書いてあるかを答える。

・ 抜き出し問題（要約文、表、図）

本文の中から 1~3 単語程度を抜き出して答える。

・ 選択問題（4 択、文完成のマッチング、要約文の穴埋め選択）

記号で答える。

・ Yes / No / Not Given, True / False / Not Given

設問の内容が本文に一致するか、矛盾するか、判断できないかを答える。

・ 分類問題

年や人物を元に、設問の内容进行分类する。

■CDI のメリット

・ 分割画面なのでページをめくらずにすむ

■CDI のデメリット

・ 本文や設問へのチェックが入れにくい

・ モニターで字を読むのが得意かどうか

■問題の解き方

・ 飛ばし読み、探し読みはせずに、基本的には本文の最初から最後まで目を通す。

・ 各設問形式の特徴をしっかりと把握して、どの手順で解けばいいかを考える。

■勉強方法

・ 精読

細かいところまで拘って読む。英語の語順どおりに意味を取っていく。

訳を書き出す必要はなし。必要があれば文法事項など調べながら。

・ 速読

細かいところは気にせず、絶対に戻らずに 8 割がた意味を取っていく。

1 日 1 回×5 日間。時間を計るとよい。1 パッセージ 6 分、150 words/分が目標。

★LINGO の授業では…

・ 主に宿題で解いてきて頂いた本文を、皆さんに解いて頂く手順通りに解説します。

・ IELTS ならではの問題形式に対する効率的な解き方をお教えします。

Writing Section

■問題構成

Task1 (150 単語以上) と Task2 (250 単語以上) を合わせて 60 分で手書きする。
Task1 は 20~25 分、Task2 は 35~40 分かけるのが普通だが時間配分は自由。

■採点

4 つの観点別評価でその平均がスコアとなる。Task2 は Task1 の 2 倍の重みとなる。

Task achievement (タスク到達度) / Task response (タスク対応)

Coherence and cohesion (一貫性)

Lexical resource (語彙)

Grammatical range and accuracy (文法)

■問題の種類と 8 回中の出題頻度

<Task1>

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| ・ グラフ、表 (時による数字の変化が <u>ある</u> もの) | 3~4 |
| ・ グラフ、表 (時による数字の変化が <u>ない</u> もの) | 2~3 |
| ・ 地図 | 1~2 |
| ・ 図 (プロセス) | 1~2 |

■CDI のメリット

- ・ Cut&Paste で編集が簡単

■CDI のデメリット

- ・ タイピングに慣れていないと難しい

<Task2>

- | | |
|---|-----|
| ・ 両面書くことが必須の問題 | 2~3 |
| Discuss both these views and give your own opinion.
Do the advantages outweigh the disadvantages? | |
| ・ 片面で押すことも出来る問題 (両面書くことも可) | 4~5 |
| Is this a positive or negative development?
To what extent, do you agree or disagree with the statement? | |
| ・ 2 つの質問がある問題 | 1~2 |
| What are the reasons? What can be done to solve the problem?
What are the reasons? Is this a positive or negative development? | |

■問題への取り組み方

- ・ 本文を書き始める前の「課題の理解」「アイデア出し」「立場・構成決め」が大事。
→Task2 は特に、課題の読み違いと、段落途中での話の脱線が起りやすい。
- ・ Task1 は、良く出る課題については表現や構成をしっかり覚える。
- ・ Task2 は、どんな内容でもいいので、筋が通るように分かりやすく書くことを意識。

■勉強方法

- ・ 書く練習
手書きで時間を計って書き、翌日に自分で添削してみる。
- ・ サンプル答案の真似
表現は真似で覚えるのが一番。
サンプル答案を繰り返し読み、音読し、筆写して必要な表現を覚える。
Reading などから使える表現が見つかったらノートにストックしておく。

★LINGO の授業では…

- ・ 答案を授業の数日前までにメールで提出して頂き、授業で個別に添削をお返しします。
- ・ 授業では日本人が書いた真似しやすいサンプル答案や表現集を使います。

Speaking Section

■問題構成

ペーパー版でも CDI でも全く同じで、対面式の面接試験。
3 パートあり、それぞれ制限時間内で様々な質問をされる。合計 11～14 分。

■採点

4 つの観点別評価でその平均がスコアとなる。

Fluency and coherence (流暢さ、一貫性)

Lexical resource (語彙)

Grammatical range and accuracy (文法)

Pronunciation (発音)

■問題の種類

<パート 1> 身近な話題 (自分のこと) の質疑応答 4～5 分

- ・最初は、仕事/学業か居住地について 3 問ほど聞かれる。
- ・その後、2 つのトピックについて 4 問くらいずつ質問される。

<パート 2> 2 分間スピーチ (1 分の準備時間あり) 3～4 分

- ・課題を書いた紙を見せられた後、準備開始。筆記用具が渡され、メモをとることが可能。
- ・課題は 1 つのテーマと 4 つの質問で構成されている。
 - 課題を全て読んだら、早くトピックを決めることが重要。
 - その後、4 つの質問について思いついたアイデア (単語) をメモする。
- ・スピーチは何としても 2 分間喋りきる。関連する話題なら、質問と少しずれていても OK。
 - スピーチがあまりに短いともっと喋るよう促される。

<パート 3> 一般論での質疑応答 4～5 分

- ・パート 2 に関連したトピックについて、一般論を聞かれる。
- ・自分の答えた内容について深く突っ込んで聞かれることもある。
- ・時間が余った場合は別のトピックの質問をされることもある。

■問題への取り組み方

- ・ゆっくり目で、とにかく空白を作らずに喋り続ける。
- ・話す内容はどうしてもよく、きちんとした英語になっているかが重要。
- ・質問が理解できなかった場合はすぐに聞き返せば OK。

■勉強方法

- ・話す練習

質問集を元に自分で回答を録音して、聞いてみる。

スカイプ英会話などで練習する機会を増やす。

- ・表現のストック

使える表現をストックする。難しい表現や単語がスムーズに出てくると高評価。

★LINGO の授業では…

- ・各パートで話すべき内容や構成などの戦略をお教えます。
- ・お一人ずつ喋って頂き、その場で講師がフィードバックを行います。

スコアアップまでの道のり

■セクション別のバランス

Reading でスコアを稼ぐ。Listening は目標の OA と同じくらい。

Writing/Speaking は若干の変動は仕方ないが、底割れしないような実力をつけたい。

Overall	Listening	Reading	Writing	Speaking
7.5	7.5	8.5	6.5	6.5
7.0	7.0	8.0	6.0	6.0
6.5	6.5	6.5	6.0	6.0
6.0	6.0	6.0	5.5	5.5
5.5	5.5	5.5	5.0	5.0

※各セクションのスコアの変動が激しいうちは何度も受けても目標達成の可能性は低い。
→各セクション、自分なりの目標配分-0.5 は絶対に割らない力をつける。

■学習期間

3 ヶ月～半年で 0.5 アップを目指すのが現実的

現スコア	4 ヶ月後	8 ヶ月後	1 年後
OA6.0 L5.5 R6.5 W6.0 S6.0	OA6.5 L6.5 R7.0 W6.0 S5.5	OA7.0 L7.0 R8.0 W6.0 S6.0	OA7.5 L8.0 R8.0 W6.5 S6.5
OA5.0 L4.5 R5.5 W4.5 S4.5	OA5.5 L5.0 R5.5 W5.0 S5.5	OA6.0 L6.0 R6.0 W5.5 S5.5	OA6.5 L6.5 R6.5 W6.0 S6.0

■IELTS と TOEFL

「TOEFL は難しいから IELTS に移る」は間違い。IELTS に向いている人と TOEFL に向いている人がいる。

IELTS と TOEFL の換算表 (独自)

IELTS	TOEFL
8.0	110
7.5	100
7.0	95
6.5	85
6.0	70
5.5	60

IELTS と TOEFL で求められる能力

	IELTS 向き	TOEFL 向き
全体	Reading 力と会話力が高い。	Listening 力が高い。4 択が得意。
Listening	1 単語ずつ音を取れて、すぐに意味を把握できる。	全体を通して流れで内容を把握できる。
Reading	1 文ずつ正確に意味を取れる。	語彙力が高く、流れを追うことが出来る。
Writing	正確な文法力を持っている。	語数をたくさん書く勢いがある。
Speaking	どんな話題でも通常の英会話には困らない。	話したいことは簡単な英語に直して伝えられる。

TOEFL と IELTS の比較は当校ウェブサイトのコラムをご覧ください。

